

Heartful Communication

ひがしみの

JAグループ

耕そう、大地と地域の未来。



特集1

西年さん大集合

特集2

JAひがしみのアンケート
実施結果

Vol.226

1

2017 JANUARY

JAひがしみの

新春のお慶びを 申し上げます



東美農業協同組合
代表理事組合長
足立 能夫

組合員・地域の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、JAひがしみのをご愛顧賜り、心より厚く御礼を申し上げます。

当地域の農業を取り巻く環境につきましては、わが国の経済情勢に回復の兆しが見られているものの、畜産物においては、全国的な子牛の減少により、子牛、肉牛ともに、販売単価は前年を上回る高値で推移しております。また、農産物においても、夏から秋にかけて、度重なる局地的豪雨や日照不足など異常気象の影響を受け、水稲においては、作況指数が全国的には「やや良」の103となりましたが、この地域では「平年並み」の98という結果となりました。当地域の主な農産物である「トマト」「ナス」の生産については台風等の大きな被害がなく、生産量を1割〜2割伸ばすことができました。しかし、粟に関しては超特選栗を中心とした生産が8月の日照不足の影響により約1割の減収となりました。しかしながら、美濃地方で生産される「コシヒカリ」につきましては、昨年度に行われました全国穀物検定協会が行う食味ランキングで、最高ランクの「特A」評価をいただきました。これは東美濃管内の米の生産者や消費者にとって大変喜ばしいことであり、また、今後の米の生産者の所得増大や米の消費拡大にも直接むすびつくものと考えております。当JAでは、自己改革の目標でもある「農業者の所得増大」の実現に向け、米の消費拡大の具体的方策として一昨年より「今ざり米ひとり」の販売強化に取り組んでおり、消費者の方々から好評を得ております。

昨年4月には、JA・組合員の組織・事業の形態等を見直す、改正農協法が施行されました。我々JAグループといたしましては、自己改革の目標である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現に向け全力で取り組んでまいります。

当JAは、支店・アグリセンターを中心としたJAファンづくり運動に取り組む「食」と「農」を通じて地域の皆様に信頼され、必要とされる組合運動を展開してまいります。今後とも組合員、利用者の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年が皆様にとって素晴らしい年となりますことを心よりお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



本年もよろしく
お願い申し上げます

- 代表理事組合長 足立 能夫
代表理事専務 細江 成徳
常務理事 荻野 修三

- 代表理事 成瀬 恭平
常務理事 原 実好
監事 西尾 敏成
監事 粥川 茂和
外部監事 勝飼 吉弘
他職員 同 佳朗



積極的にとり組む! 7年に

新しい年が始まりました。皆さんにとって素晴らしい一年となることを、心より願っております。今回は新年の幕開けにふさわしい年男・年女の方に登場していただき、今年の抱負を語っていただきました。

●生まれ年

2005年(平成17年) 1993年(平成5年) 1981年(昭和56年) 1969年(昭和44年)
1957年(昭和32年) 1945年(昭和20年) 1933年(昭和8年) 1921年(大正10年)

●^{とり}酉年生まれの性格

頭がよく、何事も器用にこなすことができます。また好奇心が旺盛で積極的に素早く行動に移すことができ、簡単に吸収ができます。しかしながら、努力しなくても才能に恵まれているために飽きやすく中途半端に終わったり、すぐに移り気になってしまう傾向があるので、忍耐が必要かもしれません。最後まで探求し続けることが、運氣向上のカギとなるでしょう。明るい性格で人気者になりやすく、みんなの輪の中心的人物になることが多いようです。



吉村 淳さん
昭和32年生まれ

- Q1 色々な事がありました。とりあえず健康に過せたので“よし”とします。
- Q2 まずは家族全員健康で過したいです。今年は5回目の年男、初心に帰って一から頑張りたいです。
- Q3 グローバルで未来思考の農業を目指して欲しいです。

- Q1 色々な事があった1年でした。周りの人たちの存在に助けられ、感謝することばかりでした。
- Q2 自分の好きな事を好きだけやって、なおかつ夢に近づけるように頑張っていきたいです。
- Q3 地域を代表して良い暮らしが出来るようにサポートしてほしいです。



中島 彩さん
平成5年生まれ

- Q1 たくさんの出会いの中、色々な経験をさせて頂き、学びの多い1年でした。
- Q2 家族と仲良く過ごし、仕事も楽しく充実させる。みんなが輝ける年にしたいです。
- Q3 若い人や農業に馴染みのない人にも身近に感じられる存在であってほしいです。



- Q1 ● 昨年を振り返って
- Q2 ● 今年はどんな一年にしたいか
- Q3 ● JAに期待すること、メッセージ

- Q1 5年生として、低学年の子の面倒や6年生に向けて頑張りました。
- Q2 6年生として、いろんな面で自分を高めれる年にしたいです。
- Q3 おいしいお米が食べたいです。
あすか
内田 杏風さん
平成17年生まれ

酉年^{とり}さん大集合!!

原 節子さん
大正10年生まれ



- Q1 おかげで元気に過ごせたことを感謝しています。
- Q2 8回目を迎えた酉年。元気いっぱい楽しく過ごしたいです。
- Q3 地域とのよい関係を築いてほしいです。



佐藤 かおりさん
昭和44年生まれ

桜井 八朗さん
昭和20年生まれ



- Q1 「じいじとばあばの作ってくれたお米、野菜などが美味しくて大好きだよ」と孫たちが言ってくれます。魚も大好き。1年を通して農業と趣味にいそめた年でした。
- Q2 生活の全ては健康から。365日体を動かし、趣味と共に野菜作りなどを続けたいと思います。
- Q3 笑顔とやさしい窓口対応。農家への応援を引き続きお願い致します。

より一層ご満足いただけるJAひがしみのために JAひがしみのアンケート実施結果

このたび実施いたしました「JAひがしみのアンケート」に多くの貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。アンケートの結果及びお寄せいただきましたご意見・ご要望等は、地域に根ざしたより良いJAを目指し、今後の第6次中期計画の実践・JA運営の参考とさせていただきます。

調査方法

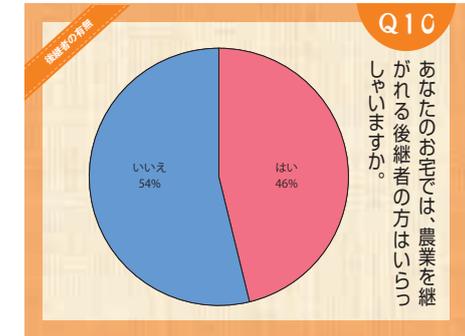
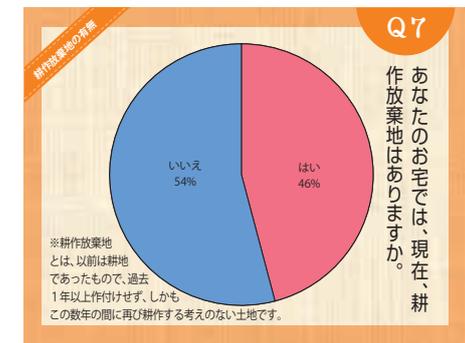
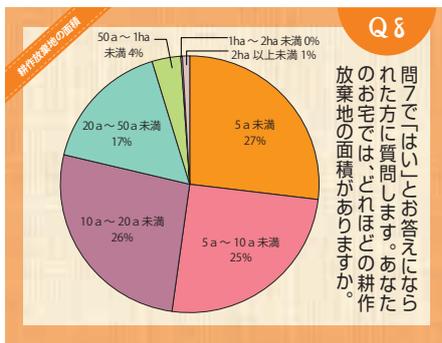
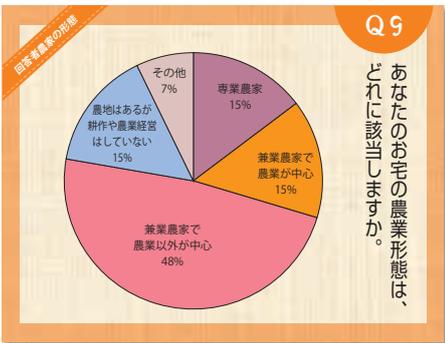
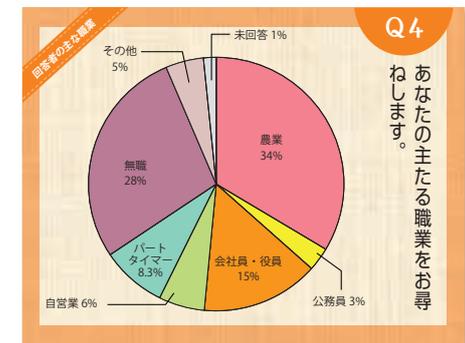
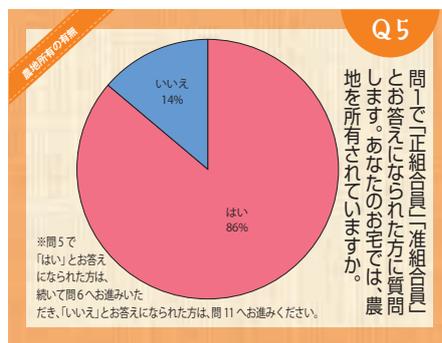
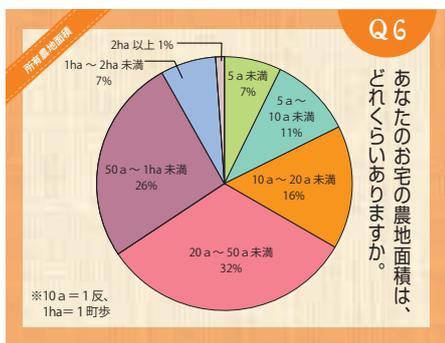
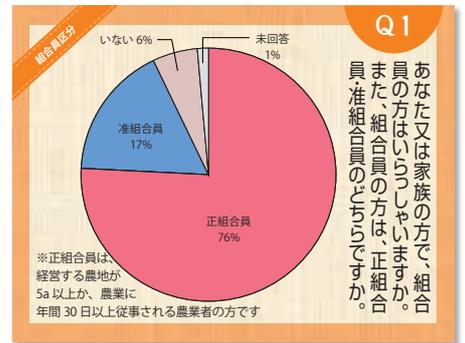
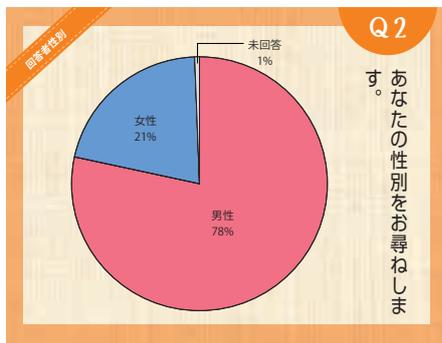
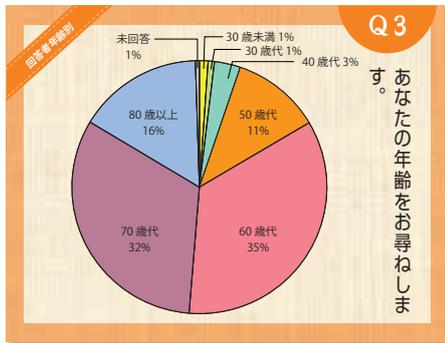
配布先	広報誌配布先(組合員戸及びその他配布先)
配布方法	平成28年9月号広報誌折込
提出期限	平成28年10月31日

回答状況

発送件数	24,540通
回答者より直接本店へ郵送された分	1,082通
支店・営業所・事業所の窓口へ提出された分	172通
合計	1,254通
回収率	5.11%

※質問の中での「あなた」とは、ご回答いただいているご本人としてご記入をお願いしています。

ご回答者さまについての質問





第6次中期計画(平成28年度～平成30年度)

JAひがしみのでは、第5次中期計画(平成25年度～平成27年度)の基本目標として、「農を基軸とした組織活動と事業展開の実践」「組織基盤の強化」「経営基盤の強化、健全性の確立」を掲げ取り組んできました。その結果、一定の成果は挙げられたものの、継続が必要な事項に加え、情勢の変化により新たな取り組みが必要な事項など、取り組むべき課題は山積しています。

農業面については、担い手・後継者の不足、農業資材価格の高止まり、米価の低迷、交付金の減少、平成30年産米からの生産数量目標の廃止、経営所得安定対策の段階的な見直し、飼料用米の交付金拡大、農地中間管理事業の開始、大筋合意に至ったTPP(環太平洋連携協定)等大きな環境変化の中、将来にわたって安定した農業経営が継続できるよう農業者の所得増大へのさらなる取り組みが求められています。

JAをめぐる情勢については、政府はTPPによる自由化や規制緩和を視野に、農業・農村全体の所得を今後10年間で倍増することを目指し「農林水産業・地域の活力創造プラン」を改訂し、この農政改革の一環として「農協改革」の推進を決定しました。そして、平成27年4月の閣議決定を経て、JAの事業運営原則の明確化、理事の構成、中央会制度の廃止、公認会計士監査の義務付け、JA・連合会の組織変更規程等を盛り込んだ改正農協法が平成27年8月の通常国会にて成立しました。

これらを受けJAグループでは、平成26年度からの5年間で自己改革の集中期間とし、特に平成28年度からの3年間で集中実践期間として取り組むことを表明しました。

このような状況の下、JAひがしみのでは、平成28年度からの3か年の中期計画を策定し、「農業者の所得増大」「地域の活性化」「経営基盤の確立」を自己改革の最重要課題として、地域に根ざした総合農協を目指し、組合員と共に役職員が一丸となって長期ビジョンの実現に向け取り組んでまいります。

長期ビジョン(経営方針)

- ◆地域の農業者のために
地域の農業を支える専業・兼業等多様な担い手(農業者)を応援し、元気と活力ある東美濃地域の農業を構築します。
- ◆地域に必要とされるために
JAの存在意義と使命を見つめ直し、東美濃地域から必要とされるJAを目指します。
- ◆地域で信頼されるJAとなるために
組織基盤の拡充、経営基盤の強化・健全性の向上により、将来にわたって安定した事業運営の確立を図ります。

基本計画

1. 農業者の所得増大と農業生産の拡大

- (1) 付加価値の増大、消費者ニーズに基づく販売力強化
- (2) 新たな担い手の育成・支援
- (3) 生産資材コスト低減と省力化資材の提案
- (4) 営農指導態勢の強化による農業生産・技術力の向上
- (5) 事業部署間の連携強化



2. 総合事業展開による地域の活性化

- (1) 「食」と「農」を基軸としたJA活動による地域コミュニティの活性化
- (2) 総合事業を活かした組合員・利用者ニーズに即した提案型事業の展開
- (3) 次世代・若年層との繋がり強化



3. 組織基盤・経営基盤の確立

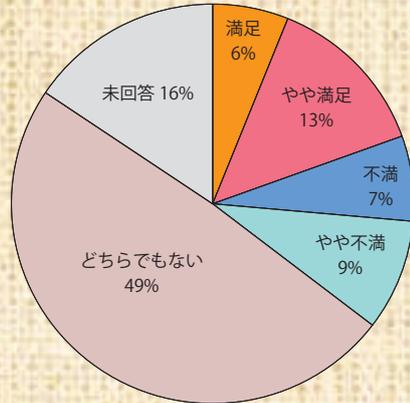
- (1) 全役職員による事業計画の遂行と経営管理態勢強化による自己資本の充実
- (2) 経済事業のさらなる収支改善
- (3) 組合員の事業利用メリットの醸成、准組合員のパートナー化
- (4) 組合員に信頼され満足いただける職員の育成
- (5) 不祥事未然防止策のさらなる確立と法令遵守の徹底



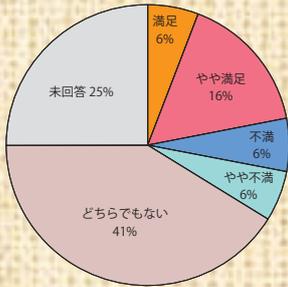
Q11-14

第6次中期計画の全体について、どのような感想をお持ちですか。

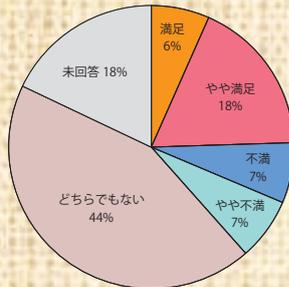
Q11 中期計画全体への感想



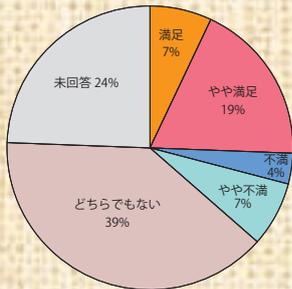
Q12-2 農業者の所得増大・農業生産の拡大への取組内容



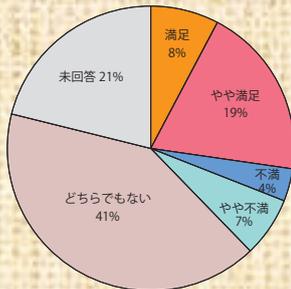
Q12-1 農業者の所得増大・農業生産の拡大への取組姿勢



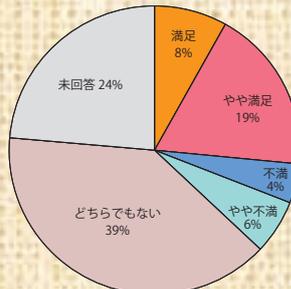
Q14-2 組織基盤・経営基盤の確立への取組内容



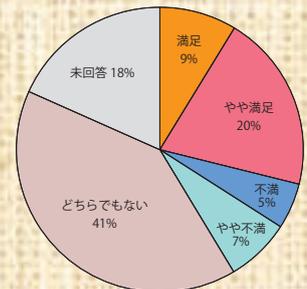
Q14-1 組織基盤・経営基盤の確立への取組姿勢



Q13-2 組織活動重要性の再認識・総合事業展開による地域活性化への取組内容



Q13-1 組織活動重要性の再認識・総合事業展開による地域活性化への取組姿勢

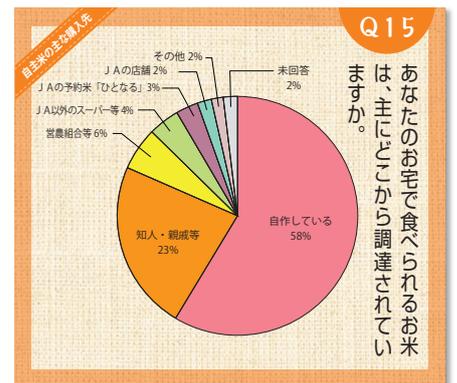
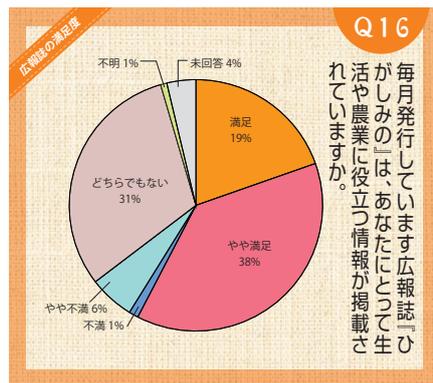
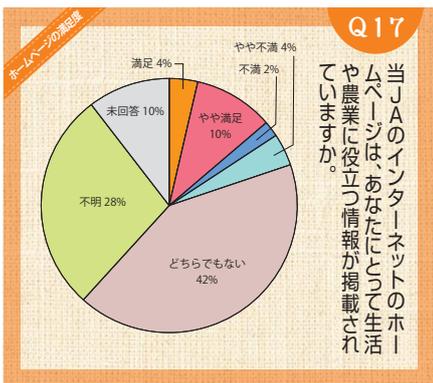


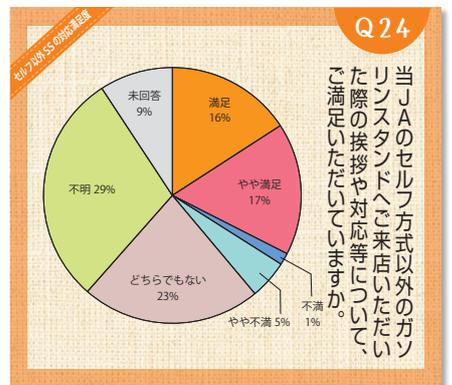
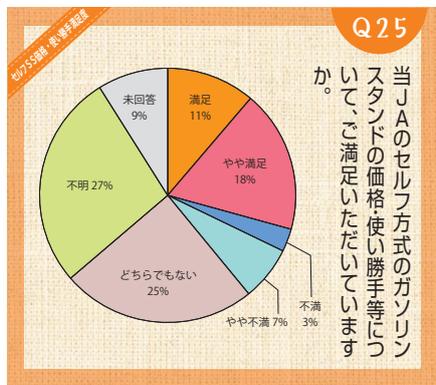
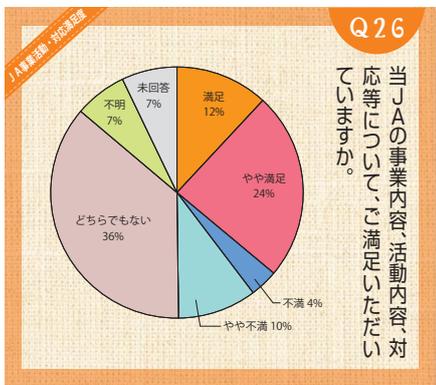
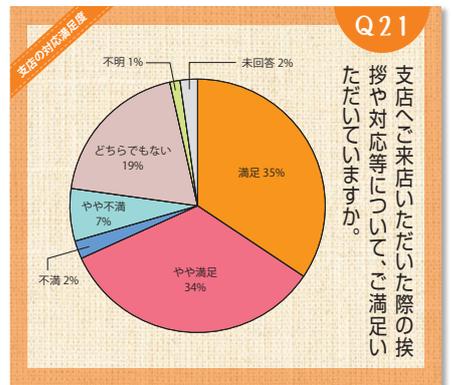
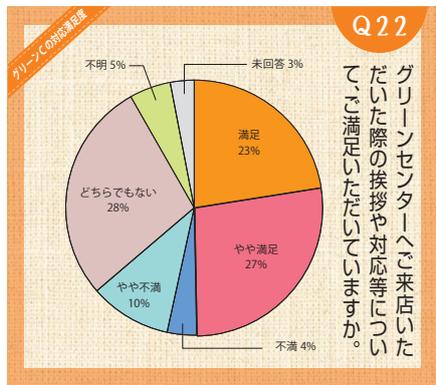
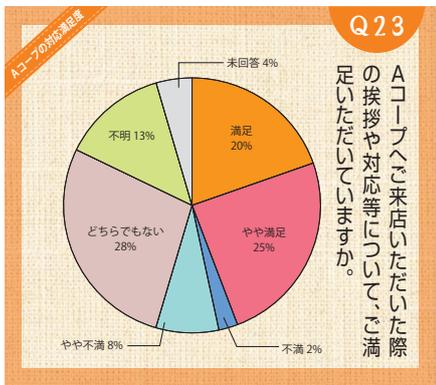
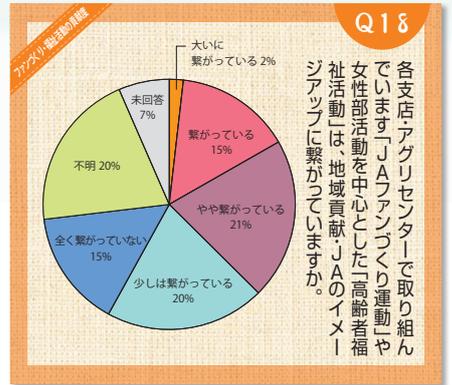
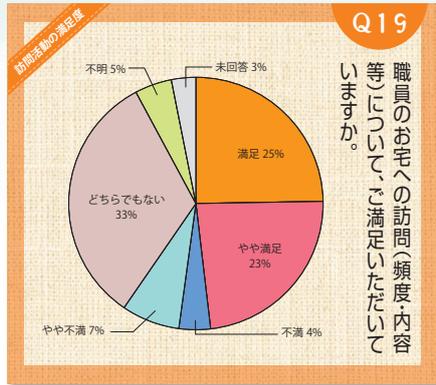
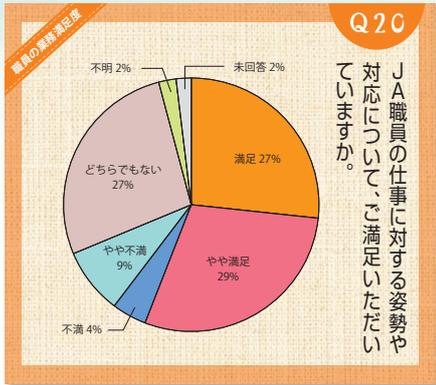
第6次中期計画では農業者の所得増大や地域の活性化に取り組んで参ります。



その他についての質問

※問15以降からの質問については、お答えいただく基準を平成27年度末(平成28年3月末)としてご回答いただいています。





アンケートへのご協力
有難うございました。
未来に向けてより良いJAづくりに
役立たせていただきます。



品質良好、贈答品に好評 自然薯出荷

当JAと恵那自然薯生産組合は11月25日、JA東野営業所で自然薯の出荷目揃え会を開き、同組合恵那農林事務所、同JAなど18名が出荷規格などを確認しました。同組合は、現在9戸が約35aで自然薯を栽培。環境に配慮した「ぎふグリーン農業」を取得し安全・安心な生産に加え、共同施設で種芋の生産を行うなど品質の統一を呼びかけています。

伊藤正博同組合長は「今年は見た目も満足いく自然薯ができた。これからもおいしい自然薯を多くの人に食べてもらいたい」と話しました。

年末年始の贈答品としても人気で、12月5日から22日まで全国へ発送した他、同JAえなグリーンセンターでも販売し、好評でした。



出荷規格を確認する同組合員

ちぢれた葉に甘み十分 ちぢみほうれんそう出荷

当JAは12月2日、同JA本店でちぢみほうれんそうの出荷目揃え会を行い、生産者や同JA、恵那農林事務所など12名が収穫基準の大きさを縮れた葉を見せる袋詰めの手順などの出荷規格を確認しました。

昨年は9月の雨により発芽が遅れた影響で、一昨年より少なめの約3トンを出荷予定。12月中旬から2月まで岐阜市場へ出荷し、同JAグリーンセンターでも販売しています。

同JA職員は「同JA管内では冬野菜として定着させ、産地の拡大を目指している」と話しました。



出荷規格を確認する職員ら

「インターバル速歩で体力をつけよう、 JA女性部が特別講座

当JA女性部は、11月24日、JA恵南アグリセンターで、ふれあいセミナーの一環として「インターバル速歩で体力をつけよう」と題した特別講座を開催し、10名が参加しました。

インターバル速歩は、体力を向上させ、様々な病気の予防にもなると言われています。参加者は、背筋を伸ばして少し大きめの歩幅で「ゆっくり歩き」と「早歩き」を3分間交互に、30分続けました。参加者は週4回を目標に取り組みます。

インストラクターを務めた同JA女性連絡協議会三尾揚子会長は「続けることが大事。仲間と共に女性部活動に参加しよう」と呼びかけました。



インターバル速歩で気持ちよい汗をかく参加者

まち・ひと・しごと創生総合戦略 中津川市が9金融機関と協定を締結

中津川市は11月14日、同市高山の常盤座で、当JAを含む9つの金融機関と個別に「金融機関との地方創生に関する包括連携協定」を締結しました。

同協定は地方創生の実現に向け、地域におけるネットワークを活かしたコンサルティング力などを持つ金融機関と連携することにより、仕事づくり、若者の地元定着などを目指すことが狙いです。

当JAとの協定では、若者の新規就農に向けた技術支援、就農セミナー等の情報提供により市内企業の活力向上・農業の振興や移住定住推進などを図ります。

同JA足立能夫組合長は「市と協力し、地域の活性化に貢献したい」と話しました。



協定を締結した当JA足立組合長(左)と青山市長

簡単クリスマス料理に挑戦 託児所を設けて開催

当JA女性部は12月6日、当JA本店で「乳製品を使ったクリスマスクッキングスクール」を行い、若い子育て世代の女性5名が参加しました。同スクールは、幼い子どもがいる女性にも安心して受講してもらえるように託児所を設置。美濃酪産酪農女性部が講師になり、美濃酪産の商品を使ったホワイトカレーやカッターチーズなど5品を作りました。

参加者は「乳製品を使うことで料理の幅が広がることとその美味しさを再発見できた」と話しました。



料理しながら交流を行う参加者

収量・品質の向上を目指す いちご出荷本番

当JAは12月12日、JA本店でいちごの出荷目揃え会を開き、生産者や恵那農林事務所、同JAなど14名が大きさや色付きなどの出荷規格を確認しました。

東美濃いちご生産協議会は現在12戸。主に「草姫」を栽培し、5月までAコープとグリーンセンターで販売予定です。特にクリスマスシーズンには需要が高まり、多くの人が買い求めました。

同協議会員は「酸味と甘みのバランスがよく、品質の高いイチゴを出荷したい」と意気込みました。



出荷基準を確認する職員ら

小学生がゆず収穫体験 かさぎゆず組合員が講師に

かさぎゆず組合は11月29日、恵那市立恵那北小学校4年生21名を対象に、ゆずの収穫体験学習を行いました。

これは同組合が、地元の子どもたちに、特産品のゆずをもっと知ってもらおうと、4年ほど前から同小学校と同市立恵那北中学校1年生を対象に収穫体験学習を毎年行っています。生徒たちは、収穫したゆずを使って、ゆずの皮むきや果実絞りも体験。

また、同生徒たちは同組合から提供されたゆずのペーストを利用し、ゆずクッキーやゆずどらやきなど工夫をこらした菓子づくりも挑戦しています。



収穫体験を行う生徒たち

訪問介護利用者へおはぎを手づくり 助け合い組織「たんぽぽの会」

当JA助け合い組織「たんぽぽの会」は12月7日、JA本店で、同JA訪問介護センター利用者ら55名分のおはぎを作りました。

おはぎはきな粉や餡、ごまの3種類を用意。その他に煮物、漬物、みかんなどの果物を添え、色艶やかな弁当に仕上げました。

弁当は同センターヘルパーらが利用者宅を訪問し無料で配布。利用者は「おはぎが美味しくて毎年楽しみ。自宅まで届けていただきありがたい」と喜びました。



弁当を配布するヘルパー

色艶やかなおはぎを作るたんぽぽの会メンバー



(お詫びと訂正)

12月号で紹介しましたJA恵那地域親睦ゴルフコンペの総合優勝者は正しくは鈴木正司さんです。お詫びして訂正いたします。

全国農業担い手サミット 恵那地域交流会

全国の農業関係者が議論する「第19回全国農業担い手サミットinぎふ」の全体会が、11月10日に岐阜市の岐阜県メモリアルセンターで開催され、その後、県内10地域に分かれて交流会が行われました。

11日の恵那地域交流会の現地視察では、全国の生産者や関係者38名が恵那市の(株)えな笠置栗園を訪れました。行政の協力により、11haの栗園に4,600本の栽培を行い、今年の5月に法人化。同栗園鈴村猛代表取締役は「まちづくりの一環として、栗づくりを通して雇用を増やすためにも事業を行っている」と説明しました。

参加者は「今後この広大な規模の栗園をしっかりと管理していくことが課題であると思う。5年後、10年後に成功した栗園にまた訪問したい」と話しました。



栗園で説明を聞く参加者



恵那地域交流会であいさつをする当JA足立組合長

物流改革成果を研修 JA徳島市が当JAを視察

徳島県のJA徳島市の松田清見組合長など役員27名は12月6日、当JAが取り組む「物流改革」の視察研修に訪れました。当JA役員や全農本部職員10名と同JAが平成30年より同改革を取り組むにあたり意見交換を行いました。

はじめに当JA足立能夫組合長は「物流改革は、組合員や利用者への要望を吸収し、JAの信頼度を向上させるために大変重要」と改革の必要性を強調。各支店に出向く体制による営農経済担当者を配置するなど、地域の身近な存在となる活動を紹介しました。



当JAの物流改革の取り組みについて話す当JA足立組合長

県食肉市場飛騨牛共進会 丹羽秀平さんが最優秀

岐阜県畜産公社は11月28日、岐阜市食肉地方卸売市場で「2016年岐阜食肉市場飛騨牛共進会」を行い、最優秀賞に丹羽秀平さんが出品した「久白」の枝肉が選ばれました。

同共進会には県内から和牛124頭(雌44頭、去勢80頭)が出品。県畜産研究所などの審査員が発達具合や肉質などを細かくチェックしました。

「久白」はロース芯の面積やバラの厚さ、枝肉の重量などで迫力に富んだボリューム感が評価され、養老ミート(株)(養老町)が最高価格の321万99934円で、セリ落しました。



最優秀賞の枝肉と丹羽さん

「味噌作り」講座

JA女性部員になって塩切米麴で安全・安心の味噌を手作りしませんか？

●中津川地域	日程 2月28日(火)
場所 JA本店	時間 10時～13時30分
●恵那地域	日程 2月14日(火)
場所 アグリパーク恵那	時間 13時30分
●恵那北地域	日程 3月1日(水)
場所 JA恵南アグリセンター	時間 13時30分
●恵那北地域	日程 1月31日(火)
場所 JA恵那北経済センター	時間 13時30分
費用	塩切米麴 1,730円
	機械使用料 1,000円
	(2kgの大豆に対して)
	女性部員会費 500円
	(会員に未加入の方)
	※麴は分量の塩が混ぜ込んである塩切米麴を使用して下さい。
	塩切米麴はJAで用意しますが、当日大豆を各自で煮て持参下さい。7.5Lの味噌ができますので、持ち帰り用の10Lのポリ容器をご用意ください。

詳しい内容については、申し込み後参加者にご連絡致します。

お問い合わせ先

JAひがしみの本店 組織広報課
Tel 0573-78-0124

彩菜栽

2017年
1月

多年草のニラは春先に株分けして 若返りさせる



ニラは中国西部の原産。北はモンゴル、南はマレーシア、ベトナムまで、アジアの地域で古くから栽培されてきました。強い香りのもと、硫化アリルはビタミンB1の吸収率を高め、糖の分解を促進、血行を良くし身体を温め、胃腸の働きを助けるので、風邪予防や回復にも効果的、抗酸化

作用によるがんの抑制効果も期待できます。

強健な野菜で、一度植えれば毎年、年に数回も刈り取りできるもので、狭い家庭菜園にもうってつけです。

しかし、いくら強いといっても2〜3年取り続けると、株が密になり、幅広で厚みのある良質の葉が収穫できにくくなります。

そうなる前に株分けし更新をはかることが大切です。

株分けの適期は、越冬後の1月下旬〜3月上旬にかけてです。ニ

ラの育ちを観察すると、冬に入ると葉が次第に枯れ、休眠状態に入りますが、この休眠が覚め、新しい小さな芽が働き始めた頃を見計らって株分け作業をします。この頃は根株に栄養がたつぷり蓄えられていて、断根や分割という荒治療をしても傷みが少なく、作業もしやすいからです。

株分け作業は、まず残っている枯葉を地上5cmほどの高さで綺麗に刈り取ります。そして株の周りにくわかシャベルを大きく打ち込み、根株を掘り起こします。株元には強い細根が密に張っているので、全部を掘り取るわけにはいきませんが、中ほどで切断するようになっても一向に構いません。

掘り上げた株は土を落とし、指先

に力を入れて大まかに割り、さらに小割りして図のように1株ずつに分けます。

新しい畑への植え付けは、条間80cm、深さ10cmほどの植え溝を掘り、元肥として堆肥、油かす、化成肥料を施し、5〜6cm土を戻してから図のように、2〜3株まとめて、20cm間隔に植え付けます。植えるときには根株を束状にまとめず平置きにするのが良いです。覆土は株の上部が少し出るくらいにとどめ、やがて新葉が伸びだしてきたら、葉先を埋めないよう注意して、2回ほど覆土し、溝が全部埋まるようにしてください。

こうすれば2〜3ヶ月後には見違えるほど良質の葉が成長してきます。収穫は葉長20cmほどに伸びたときから繰り返し行います。



刈り取る

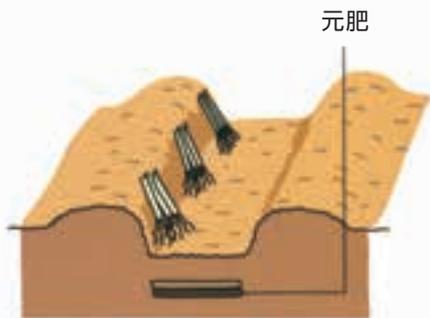
大きくくわを打ち込んで掘り上げる



根株を割る



1株ずつ分ける



新しい畑に2〜3株ずつ並べてまとめて植え付ける



恵那市笠置町
林 静雄さん(66)

ゆずでまちおこし

ゆずで町の活性化や特産品づくりに取り組む「かさぎゆず組合」で加工品を担当する林さん。同組合は平成24年に発足し、組合員45戸が現在800本のゆずの樹を管理し、無農薬・低樹高栽培に努めています。

ゆずを使った加工品は、ゼリーや羊羹、カステラなどこれまで10種類以上の商品を販売し「香りがいい」と好評です。当初はすべて加工品は委託して作っていましたが、「かさぎゆず組合」のブランド名をさらに売り込むためには、自分達で製造する独自商品が必要であると考え、林さんに依頼がかりました。

地元菓子店で30年以上勤めていた林さん。その経歴を活かし、ゆずゼリーとゆず羊羹の開発に携わりました。パッケージにはオリジナルキャラクター「ゆずもちゃん」をプリントし、当JA中津川・えな岡グリーンセンターの他、道の駅など14カ所で販売しています。

2週間に1度2人で仕込み作業をし、夏場は45℃の調理場で作業を行うなど苦労しながらも、長年の勘で手際よく作業をこなします。大量生産はできないものの、「少しでも笠置のゆずの知名度を上げ、町づくりのためになれば」と話します。

1月～2月中旬にかけてはゆずゼリーがバレンタインにちなんだゆずチョコゼリーになるなど工夫をこらした商品も並びます。

さまざまなイベントでPR

11月20日、「笠置ふるさとゆず祭り」が行われました。ゆずや加工品の販売をはじめ、ゆず餅投げなどさまざまな出店に多くの人々が来場しました。また、「ひがしみの農業祭」や「みじのみのり祭り」など多くのイベントで販売を行っています。



😊イベント Joy My Life

いろんな出会いが財産に

中津川市下野

安保 洋勝さん(78)

中津川市坂下の「私立椛の湖農業小学校」の2代目校長を12年間務めた安保さん。「たがやしひとなる」を合言葉に、3月の入学式から11月まで月1回子どもたちが地元の農家の方々に野菜や米づくりを教わりながら栽培し、収穫を行う同校。平成6年に開校し、現在までに延べ1,332家族・1,664人が卒業しました。

安保さんは椛の湖でかつて開催された野外音楽祭の先駆け「全日本フォークジャンボリー」の仕掛け人の一人。人口6千人の町(旧坂下町)に2万人が集まる大イベントとなりました。同イベント終了後も「こんな田舎の小さな町でも、多くの人を集められる。何かできる」、「子どもに野外で遊ぶ機会を提供したい」という構想を持ち続けました。そんな中、児童文学者今西祐行さんの絵本「農業小学校のうた」と出会い、かつての仲間を声かけ、全国でも先駆けとなる農業小学校を立ち上げました。

安保さんを含め、先生役の地元の農家の方々の高齢化などにより、11月27日に行われた収穫祭と卒業式を最後に23年の歴史に幕を下ろしました。

卒業生の中には、親になり子どもと一緒に再び参加する人や卒業後もスタッフとして参加する人などがおり、多くの人の「一生忘れな」思い出となっています。

安保さんは「自分の願いが仲間の助けにより形にでき、子どもたちに農業について知ってもらうことができました。また、多くの人と人がつながるぜいたくな時間をもらえた」と振り返ります。



☆JAの星

阿木支店
所 杏奈



Profile

担当:金融窓口 血液型:B型
入組:4年目 特技:そろばん
出身:中津川市茄子川

笑顔大切に

これからも丁寧な接客を心がけ、地域の人に信頼され、頼りになる職員になりたいです。

キラキラ ひがしみのっ子



恵那市上矢作町

荻山 千遠ちゃん(7) 朔くん(2) 七緒ちゃん(4)

笑顔がいっぱい

長女の千遠ちゃんは、面倒見のいい優しいお姉さんです。次女の七緒ちゃんは、しっかり者で活発な女の子。末っ子の朔くんは、元気いっぱいな男の子です。3人いつも仲良くおままごとや元気いっぴいに走りまわって遊んでいます。「3人仲良く健康に育ってほしい」とお母さんは願います。

(お詫びと訂正)

12月号で紹介しました吉田伎歩ちゃん、知由ちゃんの住所は正しくは恵那市笠置町です。お詫びして訂正いたします。



ひがし君・みゆちゃんの おはなし日和



今年も多くの作品をご応募いただき、素敵な「オリジナルカレンダー」を作ることができました。ありがとうございました。



中津川市蛭川 林多栄子さん

「オリジナルカレンダー」の素晴らしい感動しました。撮影者の方々の秘話やこだわりが伝わってきます。



恵那市長島町 市川茂さん

「オリジナルカレンダー」の撮影者とコメントがとてもよかったです。元旦から、毎月広報誌と共に合わせ見ることができ、嬉しく思います。

恵那市岩村町 三輪郁子さん



知人からこんなに立派な生姜が届きました。いつも野菜をありがとうでございます。

中津川市阿木 匿名希望



「食ごよみ」好評につき増刊しました！



本誌で平成19年〜23年にかけて料理コーナーの連載をされた土方紀代子さん(恵那市東野)の本「食ごよみ」が好評につき増刊しました。全6回にわたる連載内容をもとに、見ごたえのある155ページです。管理栄養士として、また主婦としての土方さんの工夫と実践が詰まっています。

「食ごよみ」私のくらじから〜
 ■価格 1,080円(税込)
 ■お問い合わせは
 最寄りのJA各支店もしくは本店へ

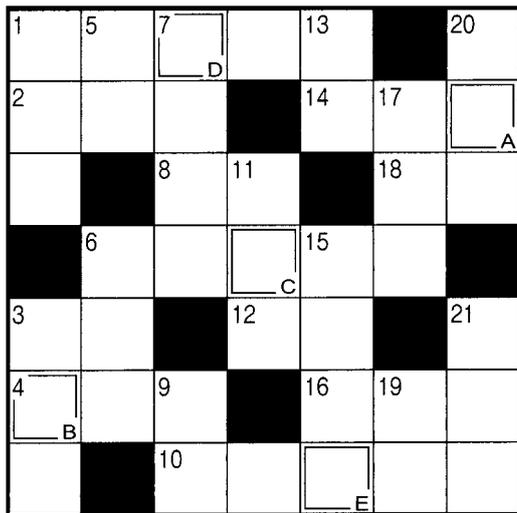
頭口体操

■タテのカギ

- ①ひょっとことよく対にされます
- ③英語でいうとファミリー
- ⑤凹がオウなら凸は
- ⑥金剛力士のこと。あうんで一対
- ⑦このわたや盗盗もこの一種
- ⑨大豆は畑の——とされています
- ⑪物は——と新製品を買ってみた
- ⑬牛乳を温めると表面にできます
- ⑮足の末端のこと
- ⑰京都・祇園の宴席に花を添えます
- ⑲一年の——は元旦にあり
- ⑳ダイコンや練り物、ゆで卵などをだしで煮込んだ料理
- ㉑ 正座をしていて切れることも

■ヨコのカギ

- ①子どもが楽しみにしている正月の臨時収入
- ②昆布と——節でだしを取った
- ③親子や兄弟でそっくりな人も
- ④正月に付きものの汁物
- ⑥笑うと負けよ、あつぷっぷ
- ⑧がっかりしたときに落とします
- ⑩タイヤにつないでシュッシュ
- ⑫ボーダーやストライプ
- ⑭落ち葉をかき集める道具
- ⑯ノルウェーの画家、ムンクの代表的作品
- ⑰忍者が指を組んで結ぶもの



【問題】二重マスの文字をA〜Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

■応募要領

ハガキにクイズの答えと、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、JAまたは広報誌に対する意見、要望などをご記入の上、下記までお寄せ下さい。

■応募締切日

平成29年11月25日(水)

■賞品

正解者の中から抽選で10名様に農協全国商品券(1,000円分)をプレゼント



■12月号の答え

ススハライ(煤払い)

■クイズ当選者(敬称略)

松村 和枝、田中 季子、勝川 勝寿、園原 道彦、渡辺 穂子、三浦 弘行、川上 紀江、熊崎 憲、丸山 須美子、青木 萌々香



〒509-9132 中津川市茄子川1646-19

JAひがしみの 本店 組織広報課

理事会

第8回理事会

(平成28年12月20日)

次の事項が報告、または審議されました。

【附議事項】

- ①任期満了に伴う役員を選任日程について
- ②次期JASTEM OTM装置(オンラインテラーズマシン)の導入について
- ③出資口数減少の承認について
- ④就業規則の一部変更について
- ⑤臨時雇用者就業規則の一部変更について
- ⑥育児休業規程の一部変更について
- ⑦介護休業規程の一部変更について
- ⑧Aコープ坂本店の閉店について

【報告事項】

- ①平成28年度上期部門部署別分析について
- ②平成28年度アンケート調査結果について
- ③第4四半期余裕金運用計画額及び運用方針について
- ④年末・年始の対応について
 - ・ATMの稼動状況について
 - ・休日の火災・災害・自動車事故の対応について
 - ・経済事業所の年末年始の休業について
- ⑤平成28年度JA共済コンプライアンス点検結果及び改善方針の概要について
- ⑥平成28年度ふれあい感謝祭実績について
- ⑦11月末の事業実績について

JAひがしみの概況

(平成28年11月30日現在)

組合員数	32,544人
出資金	26億5,325万円
貯金	2,178億350万円
貸出金	407億2,963万円
共済保有高	6,804億8,894万円
購買品供給高	45億5,371万円
販売品取扱高	32億9,757万円

ここだけの話

■昨年、流行語大賞に「神ってる」が選ばれました。個人的には、毎日テレビや新聞等で騒がれている「TPP」だと思っていたのですが、ノミネートすらなく、なぜか部門賞は「PPAP」でした。(も)

■2017年になりました。毎年あつという間に1年が過ぎ、また新しい年になりました。今年は西暦・JAひがしみの広報担当としても、プライベートでも「何事にも精いっぱい、アグリ組む一年にしたい」です。(こ)

無料相談日

JAでは、各種相談日を設けていますので、お気軽にご利用ください。各相談場所へ事前に電話予約をしてください。

内容	月日	場所	内容	月日	場所		
年金相談	1月	11日(水)	恵那支店	法律相談	1月	11日(水)	下野支店
		12日(木)	坂下支店			12日(木)	本店
		18日(水)	本店			18日(水)	恵那支店
		19日(木)	加子母支店			19日(木)	山岡支店
		20日(金)	付知支店			20日(金)	下野支店
		21日(土)	下野支店			21日(土)	本店
	2月	1日(水)	山岡支店	2月	8日(水)	下野支店	
		2日(木)	明智支店		9日(木)	本店	
税務相談	1月	11日(水)	恵那支店	税務相談	1月	11日(水)	恵那支店
		12日(木)	山岡支店			12日(木)	山岡支店
		18日(水)	本店			18日(水)	本店
		23日(月)	下野支店			23日(月)	下野支店
	2月	8日(水)	恵那支店		2月	8日(水)	恵那支店
		9日(木)	山岡支店			9日(木)	山岡支店

葬儀無料相談

内容	月日	場所	内容	月日	場所		
葬儀相談 10:00~ 14:00	1月	6日(金)	JA葬祭 アグリホールえな ☎0573-22-9876	葬儀相談 10:00~ 14:00	2月	4日(土)	JA葬祭 アグリホールえな ☎0573-22-9876
		12日(木)					
		18日(水)					
		24日(火)					
		29日(日)					

ご案内窓口 市外局番 ☎(0573)

本店	☎78-0124	上村支店	☎47-2311
中津川支店	☎65-3144	坂下支店	☎75-4111
恵那支店	☎25-5291	加子母支店	☎79-2241
山岡支店	☎56-2121	付知支店	☎82-2121
明智支店	☎54-2171	下野支店	☎72-2061

ふれあい訪問日

平成29年2月の
ふれあい訪問日 **7日(火)・8日(水)**

緊急連絡先

事故をしてしまったら	TEL 0120-25-8931
通帳・キャッシュカードを無くしてしまった	TEL 0120-215-522
葬儀に関するご相談は	TEL 0120-09-8382
電化製品のお問い合わせは	TEL 0573-78-0122
プロパンガス・ガス器具のお問い合わせは	TEL 0573-68-7744



(カレンダー応募作品より)

雪が積もった綺麗な恵那山が水面に写り、冬の澄んだ情景をかもしだして、シャッターを切りました。生命のみなもと「水」を讀める作品になっています。

今月の表紙

水源を支える
深山と溜池

撮影・切石啓一さん
(中津川市落合)
撮影地・中津川市神坂(露籠)

新鮮食材で 楽しくクッキング

管理栄養士の
「おすすめレシピ」

RECIPE
1

野菜たっぷりみそ煮込みうどん



鍋はたくさんの野菜とたんぱく質食材が入ることにより、
一品でバランスのとれた料理になります。

材料 (4人分)

うどん(生) ……………3玉	かまぼこ ……………8切れ
鶏もも肉 ……………200g	卵 ……………4個
長ネギ ……………1本	出汁 ……………7カップ
白菜 ……………1/4玉	みそ ……………大さじ6
ごぼう ……………1/2本	みりん ……………大さじ5
生しいたけ ……………4枚	七味唐辛子 ……………お好み
油揚げ ……………1枚	(当JA管内特産のおじめこしょうもおすすめです。)

作り方

- 1 うどんはざるに入れ、熱湯をかける
- 2 鶏もも肉は一口大に切り、熱湯をかける
- 3 長ネギは斜めに切り、白菜はざく切りにする
- 4 ごぼうは薄く斜め切りにして、水にさらす
- 5 生しいたけは石づきを取り除く
- 6 油揚げは2cmの短冊切り、かまぼこは7mm幅に切る
- 7 少量の出汁と調味料を合わせておく
- 8 土鍋に出汁と②、④を入れ、煮立ったら中火で5分煮る
- 9 ③と⑤と⑦、油揚げを入れ、煮立ったらうどんを加え、さらに5分煮る
- 10 かまぼこと卵を割り入れ、七味唐辛子をお好みでかける

1人当たりの栄養量

エネルギー:522kcal たんぱく質:23.9g 脂質:17.2g 塩分:4.3g

材料

(4人分)

大根 ……………1/3本	つみれ ……………12粒
白菜 ……………1/4玉	生姜 ……………小1片
ニンジン ……………1本	出汁 ……………4カップ
ごぼう ……………1本	酒 ……………1/2カップ
長ネギ ……………1本	しょうゆ ……………大さじ3
しめじ ……………1パック	みりん ……………大さじ3
豆腐 ……………1丁	

作り方

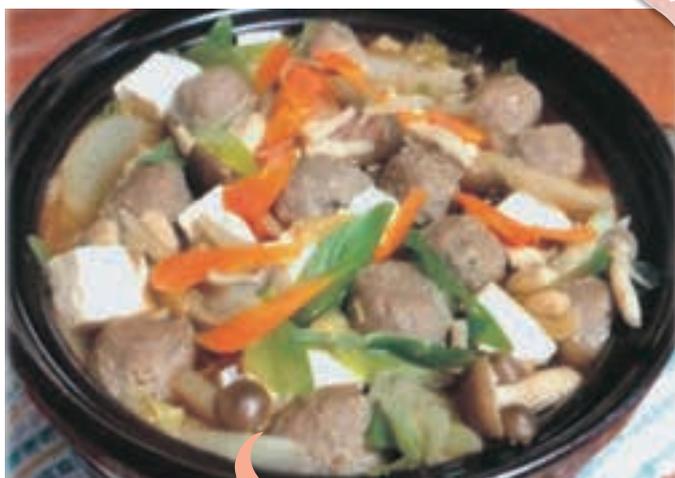
- 1 大根は5mm幅のいちょう切りにする
- 2 白菜は2cm幅のざく切りにする
- 3 ニンジン・ごぼうはささがきにする
- 4 生姜は薄切りにする
- 5 長ネギは斜め切りにし、しめじは石づきの下を切る
- 6 豆腐は一口大に切る
- 7 土鍋に出汁と調味料を入れて煮立て、①～④を入れる
- 8 煮立ったら、つみれ・長ネギ・しめじ・豆腐を加え、7～8分煮る

1人当たりの栄養量

エネルギー:208kcal たんぱく質:11.0g 脂質:4.5g 塩分:2.1g

野菜たっぷりつみれ鍋

RECIPE
2



たくさんの野菜を煮込むと、ビタミン・ミネラルがスープに溶け出ています。締めはうどんや雑炊にして食べましょう。(鍋の素を使用する場合、塩分が多いので要注意)

Heartful Communication

ひがしみの

発行:東美濃農業協同組合(JAひがしみの)●JANUARY / Vol.226 2017年1月1日発行
編集:総合企画部組織広報課 〒509-9132 岐阜県中津川市茄子川1646-19
TEL0573・78・0124 FAX0573・68・7724 (E-mail)koho@ja-higashimino.gjadc.jp

JAひがしみの
ホームページ

ひがしみの産のおいしいレシピや食材、最新情報はこちら

<http://www.ja-higashimino.or.jp/>

JAひがしみの

検索

